

環境新聞

発行所 環境新聞社

東京本社 ☎(03)3359-5371
〒160-0004 FAX(03)3351-1939

東京都新宿区四谷3-1-3
(第1富澤ビル)

大阪支社 ☎(06)6252-5895
〒541-0056 FAX(06)6252-5896

大阪府中央区久太郎町3-1-15

新規購読用 ☎(0120)1972-65
<http://www.kankyo-news.co.jp/>

振替口座 00150-5-20286
年間購読料 24,000円+税

©環境新聞社 2015

小学生の共同作品を パッカー車のデザインに

那須屋興産 2校でお披露目会開催

成。18日に製作に協力した小学校2校でお披露目会を開催した。

長野県伊那市で廃棄物処理などに取り組む那須屋興産は、地元小学生などが描いた絵をパッカー車に採用する「デザインパッカー車製作プロジェクト」を進めているが、このほどその第4弾が完

成。18日に製作に協力した小学校2校でお披露目会を開催した。同プロジェクトは2002年に第1弾のパッカー車を製作して開始。その後05年、07年に各1台製作しており、今回は8年ぶりの第4弾となった。「絶えることなく恵みを続ける天竜川と雄大な山々に囲まれた素晴らしい環境で育ち、やがてはこの地域の将来を支えてくれる子供たちにリサイクルや環境保全への思いを絵にしたためてもらう車両の側面に大きく表示することで、その思いを地域の人々に発信する場となれば」との思いでプロジェクトを推進している。

今回のパッカー車は、



西春近北小学校でのお披露目会



伊那小学校でのお披露目会

片方の側面に伊那市立西春近北小学校4年まつ組19人、もう一方の側面に伊那市立伊那小学校3年勇組34人による作品を採用した。それぞれクラス全員が共同作品として思いを1枚の絵にまとめたものをもとに、パッカー車の車両の形や配置、色のバランスなどを考慮して若干の修正を加えながら、プロの手でできただけ忠実に再現したものとなっている。

18日には両校でお披露目会を実施。西春近北小学校であいさつした同社の池上裕平常務はデザインを手がけた小学生たちに対し、「これから大人

になって活躍していく中で、皆さんの力がこの美しい伊那を守って行くことにつながるといふことを覚えておいてほしい。ごみはひと手間かけて分けただけでリサイクルが進み、また材料となる。今日からでも少しだけ気を配って分別を行ってほしい」と話した。また、同校の市川利史校長は、「子供たちは地域をきれいにしたいと心を込めて絵を描いた。どこかでこのパッカー車を見かけた時には懐かしく思い出しながら、ごみの分別などを心がけていってほしい」とお礼の言葉を述べた。